地震時管制運転

乗客の安全確保のために

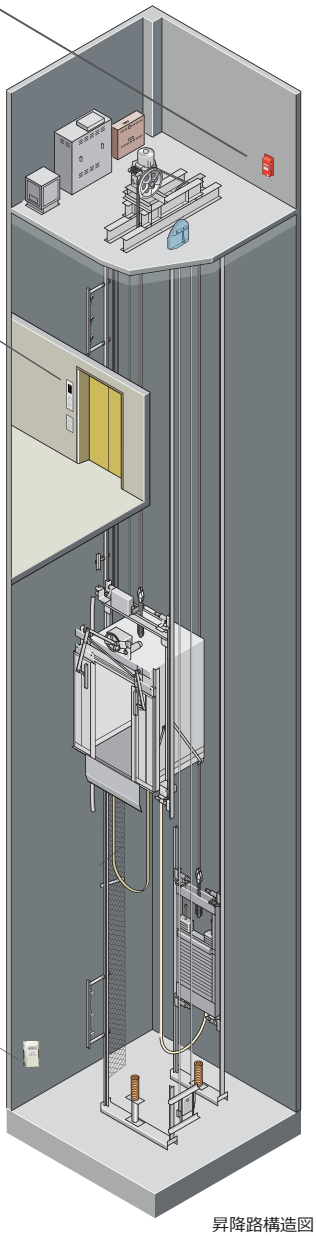
2009年の法改正により、地震感知器の設置および管制運転の装備が定められました。地震を感知した場合、エレベーターを最寄り階に停止させ、乗客を素早く避難させます。



S 波感知器



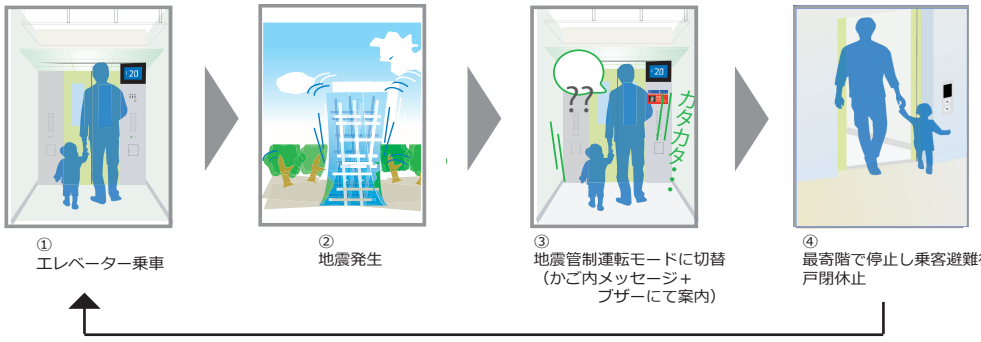
かご内表示例



昇降路構造図

製品特徴

■地震感知器には、初期微動用のP波センサーと主要動（本震）用のS波センサーがあります。初期微動は揺れが伝わる速度が早く揺れが小さいという特徴があり、主要動は揺れが伝わる速度が遅く揺れが大きいという特徴があります。P波感知器を設置する事で、主要動が来る前にエレベーターを最寄階に停止させ、安全な避難が可能になります。またＳ波センサーには２段階の設定があります。



①エレベーター乗車　②地震発生　③地震管制運転モードに切替（かご内メッセージ＋ブザーにて案内）　④最寄階で停止し乗客避難後戸閉休止

本震がなければ約60秒後に通常運転に復帰します。（本震が来た場合は継続休止）



P 波感知器

作業内容

■作業工程

・ご契約から納品まで約2 ～ 4 カ月程度です。（生産状況で前後します。）

・作業時間は３～６時間程度です。（建物状況によって異なります。）

■作業内容

地震感知器設置工事、制御盤改造工事、
各機器間の配線工事

地震感知の設定値

建物高さ	地震感知器の設定値（Gal）			
	P波	特低	低	高
60mまで	2.5 5 10	―	100,120（頂部設置） 40,60,80,100,120（底部設置）	300（頂部設置） 120（底部設置）
60mを超え120mまで		40（60m～90m） 20（90m～120m）（頂部設置）	100,120（頂部設置） 40,60,80,100,120（底部設置）	120,150（頂部設置） 60,80,100,120,150（底部設置）
120mを超える		長尺物振れ感知器を適用	40,60,80,100（頂部設置） 40,60,80,100,120（底部設置）	60,80,100,120（頂部設置） 60,80,100,120,150（底部設置）

OTIS

日本オーチス・エレベータ株式会社

Learn more at Otis.com

© 2026 OTIS ELEVATOR COMPANY